

ピラでスト登山口から、古道近江坂・抜土・石庭間を縦走しました。素晴らしく良いお天気で、お花もたくさん咲いていて、そよ風が心地よく、とても楽しいトレッキングでした。帰りに道の駅藤樹の里あどがわに寄り、お土産購入など楽しみました。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。

◆**歴史 近江坂の謂れ** この古道は、近江酒波寺（西暦 741 年 僧行基開創の寺院）と關見神社（式内社）の間を馬が往来した道である。大日岳および三十三間山に至る山域は、南北朝時代以前は酒波寺の寺領であったので、山入（炭や薪を採る）の年貢を若狭倉見から近江に運んだり、近江から祈祷のため倉見に向いたり往来がなされた。南北朝時代になると足利尊氏が軍資金を確保するため、山にも重い課税をした。※酒波寺は、年貢を支払えないため、倉見・能登野の代表者と話しをし、西暦 1351 年現在酒波寺にある平安時代の大般若経 600 巻の写経と三十三間山西側の山入権を交換した。その後も、近江・若狭どもの祭礼のお供えや鑄流馬行事に馬を運んだり、大般若経の祈祷会などで人馬の往来が絶えることなく、この古道が使われた。春のお花が咲き誇る古道近江坂をゆっくり自然観察しながら楽しみました。※山手米という一種の税金を賦課した。このあたりの山を三方に与える代わりに三方から山手米を出してくれということになった。

◆トレッキングの様子



沢を渡る



綺麗な樹林に行く①



②



展望台にて



シャクナゲの花が咲き誇る①



②



③



気持ちいい、グリーンウォーク



河内谷林道へ



高島市が誇るブナ原生林に行く①



②



③



④



⑤



⑥



出発時、近江坂登山口にて

◆自然観察



ウリハダカエデ



チゴユリ



ヤマイワカガミ



ニシキゴロモ



トクワカソウ



バイカオウレン



オオカメノキ



クロモジ



ウスギヨウラク



ハウチワカエデ①



②



イワナシ



シャクナゲ①



②



ズミ



ミツバツツジ



カタクリ①



②



③



オオバクスミレ



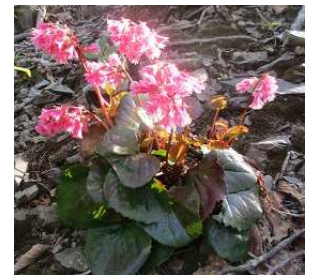
ツクバネソウ



ミヤマカタバミ



オオイワカガミ群生地



オオイワカガミ



エンレイソウ



イカリソウ



タムシバ